

# 平成30年 第5回(平成30年4月11日 開催) 四日市市教育委員会会議の概要について

<議 事>

○議 案 ・ 議案第13号 専決処分の報告及び承認について

○報 告 ・ 学校業務サポート事業について  
・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析について

## 議事概要

○報 告

・ 学校業務サポート事業について

教員が抱える事務作業等の負担を軽減し、本来担うべき業務に専念できる環境を整えるため、学校業務アシスタント及び部活動協力員を配置します。それぞれの役割や目指す効果などについて報告を行いました。

<委員からの主な意見>

- ・ 学校業務アシスタントの立場から、学校の業務を見直したり整理したりすることができれば、より業務が改善されていくだろう。
- ・ 学校業務アシスタントの導入によって、教職員の業務が軽減されるとともに、職場の風通しがよりよくなるきっかけになればよい。
- ・ 部活動協力員は、夕方ごろからの業務になるため人材の確保が難しいと考える。また、学校のことを理解してもらえる人材を確保できるかが課題である。

・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析について

平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から得られた、児童・生徒の現状、課題などの報告を行いました。

<委員からの主な意見>

- ・ 児童生徒の体力についての課題は改善傾向にある。改善に至った理由を検証し、それを今後の方針に活かす必要がある。
- ・ 運動が苦手な子どもたちをサポートするような取り組みがあればよい。
- ・ 運動を楽しむことも大切であるが、主な目的は体力向上である。子どもたちが、体力が向上したことを実感し、体を動かすことを楽しめるような体育を目指すべきである。
- ・ 定期的に体力テストを実施するなど、子どもたちが自身の成長を見てわかるようにすることが、運動好きな子どもたちのさらなる増加につながると考える。